

## 5-①. 学年別に見る生徒の本校の教育活動の感じ方の特徴

(例年比:例年の同学年との比較 昨年比:その学年の昨年度との比較)

学年	今年度	前年度
中一	今年の1年生は、例年に比べ満足度が非常に高く、26項目中20項目で例年に比べて高い評価を得ている。教員の熱心な指導や進路に関する情報、生徒指導、ホームルーム活動などで満足度が100%であった。授業中に集中できていない生徒が多いのが改善点としてあげられる。	
中二	昨年度も満足度が低い項目があり、今年度も全体的にやや低めである。特に家庭学習の項目での満足度が50%を下回っており、自分自身家庭学習が足りていないと感じている生徒が多い。逆に、ホームルーム活動や生徒会活動には満足している生徒が多いのが特徴である。	今年の1年生は、例年に比べると満足度が低い項目が多いのが特徴で、特に、環境面、容姿指導、学校行事、ホームルーム活動での評価が低い。逆に家庭学習の充実や進路実現に向けての努力の項目では例年より大きく上回っていることから、自己肯定感が高い学年であると感じる。
中三	この学年は中1の頃から学習に対する意識が高く、今回も自主的学習姿勢や宿題の有用性については高い満足度を得ている。進路実現に向けての努力の項目で満足度が低いことももっと自分自身やらなければいけないと考えていることが伺える。カウンセリングの項目で満足度が低いので改善が必要である。	1年生の頃の評価と比較し、学習面や先生方の指導、心の問題・カウンセリング部活動の項目で満足度が下がっている。この項目は例年の2年生と比較してもかなり低く、その結果から学校生活満足度も低くなっている。逆に、礼節・挨拶の項目では、昨年比、例年比共に満足度が上がっている。
高一	この学年は例年に比べ、満足度が高い項目が多いことで、国際教育の充実や学習面、生徒会活動などで高い数値となっている。特に、礼節・挨拶と環境美化意識の項目では満足度が100%である。しかし、自分自身の学習に取り組む姿勢や進路実現に向けての努力がまだ足りないと感じている生徒が多いことが特徴である。	例年の3年生と比べて、満足度が低い項目が多いが、学校生活満足度は例年並みである。1年生、2年生の時がやや低かったのが改善された。しかし、先生方の熱心さやお祈り聖歌の意義、環境保全の意識の項目では、昨年比、例年比共に低い評価になっている。自ら規律ある行動と部活動の評価については例年に比べて良い結果となった。
高二	この学年の特徴としては学校生活の満足度が低いことである。昨年度よりも低かったがそれよりも更に低い満足度である。原因として、学校行事やホームルーム活動での満足度が低く、それが起因して学習面での取り組みが不十分になっていると推察できる。どの学年でも、学校満足度と行事、ホームルーム、部活の満足度は比例関係にあり、相乗効果として学習面、進路面に反映される傾向にある。	中学生と比べて昨年度より評価が上がっている項目は多い。特に、自ら規律ある行動や怪我の対応に関しては、前年比、例年比共に満足度が上がっている。気になる点としては、学校満足度が低く、前年比、例年比で比較しても低い評価となった。その原因として、カウンセリングの充実や学校行事、ホームルーム活動の充実の項目で不満を抱えている生徒が多いのが特徴である。
高三	この学年の特徴として、学校満足度が年々減少傾向にあることである。やはり、学校行事やホームルーム活動でやや満足度は低いものの、例年の高3より満足度が高い項目も多くあるだけに原因がここからは読み取れない。自ら規律ある姿勢や学校環境保全の項目で満足度が高いことから、学校への貢献度が高く、自分をしっかり律していく姿勢がある。	学年としては、例年に比べて多くの項目で満足度が上がっている。特に、学習面での充実を感じており、ほとんどの項目で例年より良い評価を得ている。特に、教員の熱心さや学校保全の意識の項目では満足度が100%であった。しかし、学校満足度は例年よりも低く、過去3年間減少傾向にある。今年度で言うと、学校行事の満足度が著しく低下しているため、そこが大きく学校生活の満足度に影響していると考えられる。

## 5-②. 学年別に見る保護者の本校教育活動の感じ方の特徴

(例年比:例年の同学年との比較 昨年比:その学年の昨年度との比較)

学年	今年度	
中一の保護者	今年度の保護者の特徴として、服装・頭髪指導や挨拶・礼節、行事を通しての人間育成に関しては満足している保護者が多く、学校への満足度は高い。一方で、自分の子供に対して、学習面で積極性が足りないと感じており、本校の部活指導についても満足度が低くなっている。学校としては、本校の学習支援の取り組みをしっかりと保護者に説明していくことが必要である。	
中二の保護者	昨年度と比較して、学習環境の整備について項目の満足度が上がっており、頭髪指導、怪我の対応とあわせて3つの項目で満足度が100%であった。今年度は比較的に満足度が高い項目が多い。その中において、部活動に関する満足度が低く60%となっており、中2生徒の満足度が77%であることを踏まえ、分析が必要である。自分のお子さんに対する、学習面、進路面での物足りなさは中学生保護者全体的な悩みだと感じる。	例年に比べて満足度が上がっている項目も多いが下がっている項目も多いのが特徴である。子供たちが楽しく学校生活を送っていると感じている保護者が多く94.6%の満足度を得られた。また、身なり指導やカウンセリングの充実の項目でも高い満足度を得ている。逆に、学習環境の整備や進学実績、生徒の内面性の教育の項目で例年よりかなり低い評価となった。
中三の保護者	昨年度と比較して、多くの項目で満足度が上がっている。特に、教員の熱心な指導、保護者と学校の連携の項目などでは昨年度減少傾向にあったが今年度は良い評価を得ている。また、豊かな人間性の育成や学習環境面、怪我の対応などの項目でも高い満足度を得ている。やはり、中学2年生の保護者と同様に、お子さんの学習への取り組む姿勢や部活動については低い評価となっている。	昨年比で観ると、多くの項目で満足度が下がっている。特に、教員の熱心な指導、学力向上、ホームルーム活動の充実の項目では顕著である。保護者と学校の連携や悩みの相談の項目でも満足度が下がっていることから、日々の担任との連携が不十分であり、教員の指導の項目で低い評価となったと考えられる。一方、子供は楽しく学校生活を送れていると感じる保護者も多く、満足度が93.8%であった。今後は、保護者との蜜な連携や相談しやすい雰囲気作りがこの学年の課題である。
高一の保護者	今年度は全体的に良い評価を得ている。特に服装・頭髪指導と清潔な学習環境の項目で100%の満足度を得ている。また、進路指導の項目と生活指導の項目、保護者会活動で高い満足度を得ている。高校生になり、模試や大学説明会などPUP活動も本格化してきたことが要因と考えられる。一番満足度が低かったのが部活動の項目で会った。	この2年で少しずつ満足度が下がってきているのが特徴で、特に、楽しく学校生活を送っていると感じる保護者が減少傾向にある。教員の熱心な指導、保護者との連携、相談の項目では昨年比で観ると満足度が高く良い評価を得ているので、中学3年生という多感時期を迎え、生徒自身がいろいろなことに悩み、学校生活を楽しくでないように感じると考えられる。
高二の保護者	昨年度評価が低かった、教員の熱心な指導と服装・頭髪指導の項目で満足度が高かった。主体的学習への項目で満足度が低く、これは生徒(高2)の評価とも一致している。部活動の評価がこの学年も低く、生徒の評価との相違がある。もっと本校の部活動の活動紹介と保護者を巻き込んだ保護者参加型の部活動運営を考えることも必要かと思う。生活指導の項目と教員との連携の項目では高い満足度を得ている。	全項目の満足度の平均値を観てみると昨年度と比べて大きく増加している。この2年低かった、進路指導の項目でも、満足度が上がっており、多くの項目で高い満足度を得ている。気になる点としては、教員の熱心な指導の項目で満足度が下がっていることである。保護者との連携、相談の項目でも良い評価を得ているので原因が見えてこない。身なり指導の項目でも低い評価であったので、それらを踏まえ検討、改善が必要に感じる。
高三の保護者	昨年度の満足度と比較し、やや下がっている項目が多いことが特徴として上げられる。また、お子さんの家庭学習への取り組む意識や教員との連携の項目で例年より評価が低かった。服装・頭髪指導、礼節・挨拶、清潔な学習環境、保護者会活動の項目は満足度が90%を超え高い評価を得ている。	昨年比で観ると、多くの項目で満足度が増加しており、全項目の平均も8.9%上がった。特に、教員の熱心な指導、進路情報など6項目で満足度100%となっており良い評価を得た。その中で楽しく学校生活を送っているの項目で昨年度よりも7.8%、その他礼儀・挨拶、生徒の内面性を育む教育の項目で満足度が減少した。学習指導や進路指導だけでなく、行事等を含めた学校生活の充実を望む保護者の声の数値となったと予想される。